

NPO 法人生活企画ジェフリー

第5回 会員懇親会開催しました



1



2



3

- 生活企画ジェフリー、第5回会員懇親会を11月9日(土)に開催しました(写真1)。
- 参加会員の豊かな資料と話術に魅せられ、笑いと納得の中でプレゼン力豊かな自己紹介が行われました(笑)。
- 文京区の団体役員Nさんは、資料をもとに薬と健康のことを、西宮市のAさんは、畳のヘリ布で作った写真ファイルをご持参くださり(写真2)、畑仕事やブログのお話を、世田谷区の版画・油絵画家Yさんは、美術界と市民意識の現状など(写真3)、西東京市のNさんは、臨場感豊かに暮らしの中の課題などお聞かせいただきました。すばらしいお話とパフォーマンスを堪能させていただきました。感謝です。
- 会員Tさんは、出張先の熊本からお菓子を送ってくれました。ご馳走様でした。

楽しく、有意義なおしゃべりタイムでした。また来年！

台風19号により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます

- ◆東日本を中心に大規模な浸水被害や土砂崩れを引き起こした台風19号から1か月。死者は13都県90人で5人の行方が分かっていない(共同通信)。また、堤防の決壊は7県71河川140カ所で、長野県の千曲川流域や福島、宮城県県の阿武隈川流域では大規模な浸水被害が発生。土砂災害も20都県で884カ所あった。住宅被害は87,896棟に上り、水害の深刻さが浮き彫りになっている。
 - ◆ボランティア活動に従事したのは13万3,517人だが被害者のニーズにこたえるにはまだまだ不足したまま。
 - ◆鉄道被害も深刻な状況だという(東京新聞、2019年11月12日)
 - ◆河川など治水環境の不備による被害は人災ともいえる。行政も私たちもこの厳しい現実から目をそらさず、水害をわがこととして捉え、いざという時に慌てぬよう、訓練しておきたいものです。
- *報告：長野市で甚大被害を受けた穂保地区は観光リンゴ園が並ぶ大道りですがすべてが泥まみれ。どの家も家財や商品を水洗いしていました。知人宅も被害にあいお見舞い申し上げます(10/20 渡辺)。

11月19日は 国際男性デー

- 3月8日は女性の人権と男女平等を考える「国際女性デー」ですが、11月19日は男性の健康などに目を向けジェンダー平等を促す「国際男性デー」です。
- 男性の生きづらさを可視化することで、女性にとってもよりよい社会になることを願い、応援したいと思います。
- 一般社団法人Lean in Tokyoの調査によると「男性だからという固定やプレッシャーにより生きづらさや不便を感じるか」という質問に51%が感じると回答、うち「頻繁に感じる」と回答した人は20~40代で2割だった(朝日新聞2019, 11, 19)。
- 実は、当法人は男性を対象にこうした調査をすでに15年前に行い、調査結果は冊子にしてメディアにも広報したが、時期尚早というか、当時は取り上げてくれる新聞社はなかった。男性の生き方が焔上に上る時代がやっと来たのだろう。
- 冊子をご希望の方は、生活企画ジェフリー宛てお電話ください。残部少数ゆえ、ご注文はお早めに。



*東京ウイメンズブラザ民間活動助成対象事業「男のプライドと家族の意識調査」報告書『男だから呪縛、男だから自由』
*発行者：生活企画ジェフリー
*発行：2005年3月2日
*頒価1,000円

報告

上野千鶴子さんが語る

「ミソジニー(女性嫌悪)とは何か？」

- 11月8日(金)、講師とテーマに興味をもって、立教大学ジェンダーフォーラム公開講演会に行ってきました。日常生活や家庭、職場など身近な場面で未だに色濃く残る性役割観念。例えば日本でもあちこちで#MeToo運動など動きはあるのに私たちは知らない。それはマスコミが報道しないから、マスコミは男社会だからと、話された。
- お話を聞きながら、男の勝手な論理を正せるのは母・妻・娘である女の役割なのでは…。今女性が身近な男性の意識改革に挑まねば！次世代の女性たちに負の遺産を残したくないですね。
- 参考)上野千鶴子さん最新刊『女ざらい ニッポンのミソジニー』朝日新聞出版、2018年刊。(角田)